

平成25年第8回定例会一般質問通告書

通告1番 菅原辰雄議員
質問方式 一問一答方式
質問事項 復旧・復興への取り組みについて
質問相手 町長
質問の要旨 東日本大震災から2年半が経過する。町では震災復興計画に基づき、着々と各種の復旧・復興事業の展開を図ってきているが、町民からはそれらの進展に対するもどかしさが言われている。復旧・復興事業に対する現時点でどのような評価をしているのか。

- 1 各事業の目標スケジュールが示されているが現時点での進捗状況をどのように見ているか。
- 2 各事業を推進していく上で制度的な問題を含め支障となっているものはないか。
- 3 復興を成し遂げるためには公的事業の展開とともに一定の民間開発事業等の誘導も必要と考えるが、その考えと現在の状況は。

通告2番 大瀧りう子議員
質問方式 一問一答方式
1件目
質問事項 気仙沼線（鉄路）の再開は
質問相手 町長
質問の要旨 震災から2年6ヶ月、復興の大動脈となる、国道、JRなどのアクセス整備は未整備のままである。
中でも、鉄路については未だに見通しがなく、BRTが固定化するのではないかと懸念される。
鉄路は町民の足としての利便性だけではなく、観光客の誘致としても大きな役割を果すものとする。
再開を望む町民も多いが、その見通しは。また、戸倉駅までの再開の見通しは。

2 件目

質問事項 町長の町政 11 年を問う

質問相手 町長

質問の要旨 町長は 2002 年 3 月から志津川町の町長として、町政に携わり、2005 年の合併選挙によって、南三陸町の町長として、町政運営をしてきた。

2011 年 3 月には、東日本大震災によって、町政にも大きく変化が生じ、まさに町長の町づくりが試される時期となっている。

初心のマニフェストを含め、この 11 年の町政運営をどのように統括しているか伺う。

通告 3 番 千葉伸孝 議員

質問方式 一問一答方式

質問事項 町長の今後の町づくりの方針は

質問相手 町長

- 質問の要旨
- 1 町長が震災から 2 年半を経過して、自分がとった人命尊守の津波防災の、行動と対策を検証し、今後どう取り組んでいくのか。
 - 2 復興計画の人口動向と町再建の時系列は、町長が描いた想定なのか。現在の姿が計画どおりでないなら、今後の課題と対策は。
 - 3 佐藤仁町長の 4 年間の町政運営の中で、被災前の 1 年半と、被災後の 2 年半の町政の進め方はどう変わったのか。また、今後の復興の進め方はあくまでも「復興計画」どおりなのか。

通告 4 番 山内昇一 議員

質問方式 一問一答方式

質問事項 志津川・戸倉地区の高台移転地に遅れはないか。

質問相手 町長

質問の要旨 震災から 3 年目、災害公営住宅や個人住宅再建が進行中である。重要な志津川中央地区での遺跡・発掘調査を始め西地区、戸倉地区の現状の進捗状況が十分町民に周知されていない。仮設住宅での生活延長の中、不安感を払拭する見通しを伺う。

通告5番 鈴木春光議員

質問方式 一問一答方式

1件目

質問事項 高台移転への新しい町づくりの課題と再興は

質問相手 町長

質問の要旨 東日本大震災から2年6ヶ月、徐々に徐々に高台移転への形態が見えては来て居るが被災住民、仮設住民はなかなか進まない現状をなげき、南三陸町への居住をあきらめている人達が日増しに多くなっている。

課題はどこにあるのか？進捗、はかどらない原因は何か。再興は何時になるのか伺う。

2件目

質問事項 固定資産税の減税と職員給与の減額を図れ

質問相手 町長

質問の要旨 国では社会保障と税の一体改革をかかげ審議がなされているが、地方税法の改定を契機に当町の重要課題である固定資産税の減税と町職員給与の減額を図るべきと考えますが。

3件目

質問事項 農林業経営で生きられる政策を

質問相手 町長

質問の要旨 震災後に見られる農林業の衰退、荒廃は農家所得の損失だけに止まらず、生態系を悪化させ環境破壊につながる。担手が生まれ農林業生産に喜んで取り組める対策と振興策の考えは。